

鮭帰る中津川
情緒あふれる上の橋

3月
第2土曜日
開催

4年後に戻ってきてね！ さけの赤ちゃん放流会

毎年3月第2土曜日に「さけの赤ちゃん放流会」を中津川で開いています。どなたでも参加できる放流会です。今年で28回目になります。



子どもたちには南部鉄器の釜定さん製作、本町オリジナル記念メダルをプレゼントしています♪

1月

宮古市津軽石のふ化場さんより卵をわけていただいています。

~3月



ふ化したさけの赤ちゃん。小学校や幼稚園、町内の事業所などに水槽を設置し、協力して育てています。

下岡
盛岡
ほんちょう

しおり

千木 ものがたり

二〇二二年
第七号

発行・本町振興会

HPが
できました



Website

歴史遺産として

地域の繋がりの

中心として

三ツ石神社奉賛会

「若手」の名の由来や「さんさ踊り」の発祥の地と伝えられる三ツ石神社。境内にある三つの巨石は「三ツ石様」と呼ばれ、古くより信仰を集めてきました。現在は、かつて「三ツ石野」と呼ばれていた地域にある3つの町内会で「三ツ石神社奉賛会」（赤坂俊幸会長）を組織し、協力して神社を守っています。今号は、名須川町町内会より会長の熊谷武久さん、愛宕町第一町内会より神社責任役員の熊谷弘道さん、三ツ割自治会より副会長の井上節雄さんにお話を伺いました。

町内会が管理する めずらしい神社

三ツ石神社は岩手県内で最も古い神社の一つといわれ、長い間、南部家の任命で東頭寺さんが守ってきました。奉賛会の発足は昭和31年で、昭和42年8月に3町内会で初祭典を行い、今も神社の管理料を負担し、協力しながら、四季を通じて活動しています。

こと。「奉賛会の青年部を『鬼の会』と呼んでいます。若い人達は焼きそばやビールなどの屋台で盛り上げてくれます。僕らも若い頃は色々とお手伝いさせてもらって覚えたものですが、それをそのまま今の若い人達にお伝えしています。」

「私達の一番の望みは、神社周辺の小中学校さんで、さんさ踊りを継続的に教えていただくことです。盛岡のさんさ踊りの発展のためには学校の中で教えるのが一番だと思います。大きくなって、お祭りの時に踊ってくださるような子ども達を地元から積極的に育てていければ、益々さんさ踊りもよくなりますし、関係する神社としても嬉しです。奉賛会としても協力していきたいです」と語ります。

3町内会のさんさ団体「三ツ石会」は、さんさ踊り実行委員会のご配慮で、いの一帯でさんさパレードに出演しますが、現在、町内会を問わず仁王地区全体の皆さんが参加できるようにウイングを広げる準備中とのこと。学校で習った踊りを三ツ石会の一員として披露できる流れができれば素敵ですね。

それが統一見解はないとのこと。「それぞれ『いやあ、この辺にあつたはずだ』とか、『あの辺にあつたはずだ』とか思い思いに記憶が違います。以前は昔で手形を作ってもらおうとかか、お相撲さんの大きな手形をもらって作るうかとか、いや彫った方がいいんじゃないとか、色々な案が出されましたが、やっぱり伝説なので具体的にどこにあるかではなくて、自然のままでもいいことになりました。」

さんさ発祥地としての願い

三ツ石神社ものがたり

昔この地方に「羅刹」という悪さをする鬼がおり、困った住民達は三ツ石の神に鬼退治をお願いしたところ、鬼は捕まり巨石に縛りつけられた。鬼は二度と悪さをしないこと、二度とこの地方にはやってくることを誓ったので、約束のしるしとして三ツ石に手形を押させて逃した。これが「若手」の地名伝説で、それから手形の跡には苔が生えないといわれている。また、鬼が再び来ないことを誓ったことからこの地方を「不來方」と呼ぶようになったと伝えられている。鬼の退散を喜んだ住民達は、幾日も踊り、神さまに感謝のまごころを捧げた。この踊りが「さんさ踊り」の起源ともいわれている。神社には「少彦名命」や「稻荷大明神」が祀られており、増産、医療、縁結びの神さまとして崇敬されている。慶長4（1599）年、南部家27代利直公は初代光行公の御霊を三ツ石神社に迎え、隣接する東頭寺に52石を寄進し、長きにわたって同寺が管理をしてきた。

三ツ石神社の基本情報

〒盛岡市名須川町 2-1

☎ 019-622-2061（事務局：桜山神社）

📄 御朱印は桜山神社でいただけます（受付時間は午前9時～午後5時）

📄 本地仏として祀られていた十一面観音菩薩坐像は東頭寺でお参りできます



奉賛会を通じて他の町内の人と交流ができるので、それだけで楽しいですね。

岩の横にちょっと小高い斜面がありますが、子どもの頃は冬に竹そりでよく遊んでいました。

昔は神社周辺は田んぼでした。子どもの頃は例大祭の露店が楽しみでした。

町内会の枠を越えて神社を守り繋いでいる、井上節雄さん、熊谷武久さん、熊谷弘道さん（左から）伝説では、この巨石は岩手山の噴火で飛んできたと言われますが、花崗岩地帯の一部が地表に露出したとも考えられています。